

評価指標及び目標値一覧

丹波市立丹波いっぷく茶屋

1 経営評価指標

【収益性・成長性の視点】

項目説明	・施設の収益性について評価する。
評価指標の算定	・事業収入の確保
目標値設定の考え方	・物品の販売等による事業収入を確保する。
目標値	・事業収入額＝事業収入他 2,100千円以上
事業計画書への記載箇所	・様式3-2②、様式3-3(ア)

【生産性の視点】

項目説明	・施設利用者数の増加対策について評価する。
評価指標の算定	・今年度利用者数/昨年度利用者数
目標値設定の考え方	・利用者数を増加させるための観光情報の発信、誘客拡大に向けた取組みを計画する。
目標値	・対前年比1%増
事業計画書への記載箇所	・様式3-3(ア)

【安全性の視点】

項目説明	・施設の利用者数について評価する。
評価指標の算定	・利用者数の増加、確保
目標値設定の考え方	・安定的な経営を保つために、施設全体の利用者数の現状維持もしくは増加を目指す。
目標値	・利用者数＝年間施設利用等 18,000人以上
事業計画書への記載箇所	・様式3-3(ア)

2 役割遂行評価指標

【市民の視点】

項目説明	・利用者の満足度向上について評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・利用者のニーズに対応した情報発信や観光案内を行う。 ・きめ細やかな対応や利用者の求める情報を提供するため、満足度調査を行う。
目標値	・利用者に対する満足度調査 満足度80%以上
事業計画書への記載箇所	・様式3-3(ア)

【財務の視点】

項目説明	・指定管理業務に係る収支について評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・業務に係る事業収入の増収並びに必要な経費の削減を図ることで安定的な経営に努める。
目標値	・収益 計画額（収支差額0円）≦実績額
事業計画書への記載箇所	・様式3-2②、様式3-3（ア）、様式4

【業務の視点】

項目説明	・利用者の実態把握及び対応策に対して評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・利用者の実態とニーズを調査し、施設の利用者増加、物販等の拡大及び利用者の満足度向上に繋げる。
目標値	・施設訪問者に対する状況調査の実施 年1回以上 ・調査結果を踏まえた事業内容の見直し 対応率原則80%以上
事業計画書への記載箇所	・様式3-3（ア）

【人材の視点】

項目説明	・利用者からの相談や質問等に対応できる人材育成を実施しているか評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・利用者の増加に繋がる気持ちの良い応対や、来場者向けの情報発信に関する研修を行う。
目標値	・接遇、情報発信等に関する研修 年2回以上
事業計画書への記載箇所	・様式3-5（オ）

【地域の視点】

項目説明	・地域の市民や他施設との連携を図り、特産品の情報発信及び物産の販売ができるかを評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・施設を拠点もしくは起点とし、地域の活性化及び観光振興に寄与した企画運営をしているかを判断する。
目標値	・特産品販売、地域活性化に繋がる取組み 年2回以上
事業計画書への記載箇所	・様式3-3（ア）